

高校生の通学と JR 問題

2017年4月1日 北海道高等学校教職員組合連合会

1. 各校(分会)の回答から

北海道の鉄道は地域でのくらしに欠かせない公共交通の要の役割を果たし、日本国憲法が保障する生存権(25条)、幸福追求権(13条)、居住・移転の自由(22条)、教育権(26条)などの人権を保障するものです。JR問題は高校生の学習権保障にもかかわる大きな問題です。

JRの「事業範囲見直し」提案をふまえて、道高教組は全道の分会(高校)でアンケート調査をすすめています。回答は未だ10数校ですが、「ダイヤ改正により、学校が始業時間を早めなければなくなった」(北見商業)など、影響は小さくありません。

たとえば、JR北海道は去年3月のダイヤ改正において、「新幹線」の開業を大々的にアピールする一方、駅の無人化・廃止に加え、79本も普通列車を減便させ、特急列車割引切符の廃止などを次々に実施して利用者の利便を低下させています。

「生徒の下校時間は3時半なのに小樽行きの上り列車は6時までなくなった。そして、部活などでこれを逃がすと9時半まで待たなければならなくなる」(ニセコ高校)など、各地の高校で利便低下に悲鳴が広がり、NHK北海道スペシャルに登場した日高の高校生・菊地龍之介君はJR運休による代替バス通学のため「毎朝5時半に家を出る」と報じられました。

「当面赤字」が見込まれる新幹線の穴埋めのために、道民の足であるローカル線の安全や利便を後退させるやり方は看過できず、そこに北海道の未来はありません。「部活終了後に旭川に帰る列車が去年、今年のダイヤ改正で遅くなり、19:47に。旭川着は9時になる」(宗谷線・剣淵高校)や、「去年の北海道

高校生JR利用アンケート

2017/3/27 道高教組

No	線区名	生徒数	JR利用:問題
1	宗谷 剣淵高校	95	46 旭川に帰る列車がダイヤ改正で遅くなり、部活から帰るには19:47しかなくなり旭川駅着は20:58。9時門前朝も旭川発6:02、剣淵着7:05しかない
2	宗谷 土別東	17	2 宗谷線廃止しないで
3	小樽商業	287	39
4	石北線 湧別	138	1 風雪でJRはすぐ止まる
5	根室 池田高校	203	110 運休時の連絡が遅い。「次の便以降は運休」と20分くらい前に言われても対応できない
	上り(札幌・帯広)		73
	下り(浦幌方面)		37
6	札沼線 月形高校	117	37
	のぼり		33
	浦臼方面		4
7	石北線 北見商業	466	268 「愛し野」駅3/4のダイヤ改正で不便になった。
	上り(美幌方面から)		67 美幌・女満別から来る上りの愛し野着が朝7:17に。帰りの下り(北見方面)が15:32となり、学校の始業「くり上り」
	下り(北見方面へ)		201 北見に帰る下りが15:32のほか、18時台がなくなって、部活帰りは19:15まで待たされる
8	函館 ニセコ高校	109	54 去年のダイヤ改正で下校時の小樽行き15:58がなくなり17:57までなくなった。54は寮生23人を含めた利用数。
	下り(小樽行き9)		28 部活が遅くなったときに乗っていた19:03もなくなり21:22に。小樽着は22:50
	上り(長万部方面)		3 上り(長万部方面)も、下校時12:52のあとは17:12まで列車なく
9	函館 大麻高校	828	349 苗穂、白石、野幌、高砂、江別・・・手稲、豊平からも
10	いさり火 上磯高校	160	去年の新幹線開業でJR海峡線から「いさり火鉄道」に変わり通学定期代が急騰。函館→上磯の定期代は月
11	日高 鶴川高校		スクールバス
12	(池北線 本別高校	146	町がスクールバス。予算2000万円
13	(名寄) 遠軽高校		通学定期代 国鉄名寄線の中湧別から遠軽「月6570円」が20520円補助なし
14	(瀬棚) 檜山北高校	290	半数以上 通学定期代 国鉄瀬棚線の今金駅から丹羽「月3500円」が8440円。瀬棚、大成からだ3万越える生徒も。せ
	静内農業		

全道 全日制225校中167校でJR利用 利用率74%
日高線1学年495人中76人利用(2014年運航時の1年制利用数) 代行バス利用76人 保護者送迎2人

* 回答は未だ10校ほどですが「ダイヤ改正」により、学校が始業時間を早めなければなくなった(北見商業)など、影響が。
「去年のダイヤ改正で便数減らされ、下校時も6時まで列車待ち」「部活で19時乗り遅れたら、次は21:22」(ニセコ高校)など。
去年の新幹線開業でJR海峡線から3セク「いさり火鉄道」に変わり通学定期代が急騰。函館→上磯の定期代は月額6110円→8000円
「3か月定期」だと1万7420円が2万2800円。「半年」定期だと3万3030円が4万3530円

新幹線開業で JR 海峽線から 3セク「道南いさり火鉄道」に変わり、通学定期代が急騰。「函館→上磯」の定期代は月額 6110 円→8000 円。「3 か月定期」だと 1 万 7420 円が 2 万 2800 円。「半年」定期だと 3 万 3030 円が 4 万 3530 円となった」「町が通学費補助をしているけれど、それも『激変緩和』に過ぎず、平成 30 年以後は分からない」（上磯高校）などの実態があります。

2. 分割民営化・ローカル線廃止と高騰する通学費 (1992 年、道国鉄共闘会議調)

30 年前の国鉄分割民営化後のローカル線廃止による高校生の通学定期代負担の高騰は、民営化の 5 年後 (1992 年) に道国鉄共闘会議がまとめた調査で右の表に見るとおりです。

国鉄名寄本線の廃止 (1989 年) にともない、中湧別から遠軽高校に通う生徒の通学定期代は「月 6570 円」が 5 年後の平成 5 年に 1 万 6000 円余になりましたが、現在は 2 万 520 円となっています。補助なし (遠軽高校、北紋バス・北見バス)。

同じく「民営化の年 (1987 年) の国鉄瀬棚線廃止により、今金駅から丹羽の定期代は「月 3500 円」が 7920 円となり、現在は 8440 円に。瀬棚、大成からだ と 3 万円越える生徒も。せたな町が半額補助。(檜山北高校) などの実態があります。

道教委は「全日制 225 校中 167 校で高校生が JR を利用 (利用率 74%)、日高線 1 学年 495 人中 76 人利用 (2014 年運航時の 1 年制利用数)。代行バス利用 76 人 保護者送迎 2 人」としています。

高校生の通学の足として鉄道の役割は大きく、「バス転換」の負担は重大。鉄路維持を求めます。

国鉄と『転換バス』の通学定期代比較表

廃止線	国鉄駅区間	国鉄の 1 ヶ月 定期代	転換バスの 1 ヶ月定期代	
			バス転換 当時	平成 4 年 3 月現在
瀬棚	今金～丹羽	3,500	7,920	路線廃止
岩内	岩内～小沢	4,700	10,560	14,400
胆振	倶知安～喜茂別	6,450	20,160	21,960
富内	穂別～鶴川	8,420	23,760	25,800
万字	岩見沢～万字炭山	5,650	11,880	22,320
幌内	岩見沢～三笠	4,870	8,640	10,800
歌志内	砂川～歌志内	5,490	11,160	13,680
羽幌	幌延～遠別	8,420	21,960	路線変更
天北	稚内～曲淵	7,830	23,280	24,240
興浜北	北見枝幸～浜頓別	6,800	17,280	20,880
美幸	仁宇布～美深	6,410	17,640	19,080
興浜南	雄武～興部	6,090	16,560	19,080
名寄	遠軽～中湧別	6,570	15,840	16,560
渚滑	紋別～上渚滑	4,700	16,200	20,880
相生	津別～美幌	5,470	17,280	20,160
士幌	帯広～上士幌	8,660	22,560	25,080
湧網	網走～常呂	7,510	23,160	23,810
標津	厚床～別海	7,090	20,390	27,840